

報道関係者各位

2018年8月10日

(事後レポート)

世界 12 カ国から約 300 名が飯山・斑尾高原に大集合！
第 4 回多言語ネイチャーキャンプが開催されました
～自然体験で絆を深めた 3 泊 4 日、「家族のような仲間になれました」～

「ことばと人間」をテーマに多言語の自然習得と多国間交流を実践している、一般財団法人 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ（本部／東京都渋谷区、代表理事／鈴木堅史、以下「ヒッポファミリークラブ」）は、7月31日（火）～8月3日（金）、長野県飯山市の斑尾高原で第4回多言語ネイチャーキャンプを開催しました。

毎年夏に飯山市で開催されるこのキャンプは、多言語・多文化・多世代の人々が自然の中で一緒に活動することで、文化や世代の違いを越えて仲間になる喜びを味わう3泊4日の国際交流体験です。4回目を迎えた今回は、1歳から70歳までの総勢297名が参加しました。

オープニングセレモニーでは、高校生と大学生が中心となって多言語でオリエンテーションがおこなわれました。参加者は、国内は関西から東北、そして海外11カ国（中国、台湾、韓国、シンガポール、タイ、マレーシア、アメリカ、メキシコ、ブラジル、ドイツ、フランス）から集まり、O×ゲームなどのレクリエーションで距離を縮めました。また、飯山市長の足立正則氏をお招きし、飯山が日本の「ふるさと」と呼ばれる所以についてお話しいただきました。



オープニングセレモニーの様子

ネイチャーアクティビティでは、斑尾山登山、沢登り、毛無山トレッキングといった大人も大満足なチャレンジコースから、希望湖湖畔ハイキング、水遊び、ブナ林散策、ネイチャークラフト、ラフティング、ジップラインといった小さな子どもが参加できるものまで、9種類が用意されました。参加者はそれぞれ好きなアクティビティを選んで出かけ、全身で自然を感じていました。

ネイチャークラフトの会場となった広場では、木を使ったキーホルダーや森の動物を作る子どもたちの様子が見られました。また、ブナ林散策で集めた木の枝で家を作ったり、ギターやアコーディオン、トライアングル、そして竹や木を使った楽器で青空演奏会を開催したりと、大人も子どもと一緒に思い思いの自然体験を満喫していました。



沢を登りきって滝の中へ！

【報道関係お問い合わせ先】

一般財団法人 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ 広報担当 TEL:03-5467-7041

3 日目の午後には、本キャンプのメインイベントである多言語アクティビティがおこなわれました。参加者全員が広場に集まり、日本語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語といった様々なことばで進行されました。爽やかな自然の中で、各地から集まった参加者が思い切り体を動かしながら世界のことばで歌って踊り、絆を深める場となりました。さらに、野外活動家・二名良日氏の指導の下、有志らが力を合わせて作成したアジサイのリースを飾った竹の滑り台がお披露目されました。釘や針金を一切使用せず、竹とロープだけで作られた自然の魅力が詰まった滑り台は、子どもから大人まで世代を越えて大好評でした。



青空の下、世界のことばで歌って踊る参加者

クロージングセレモニーでは、韓国、インドネシア、メキシコをオンラインでつなぎ、アメリカ法人で活動するメンバーや現地コーディネーターとビデオ通話で交流しました。ゲストとしてお迎えした信州いよいよ観光局事務局次長の大口秀市氏からは「雪景色の冬にも来てください」とお言葉をいただき、お世話になったペンションの方々には感謝の気持ちを込めて色紙を贈りました。参加者からは、4 日間行動を共にしたグループが「家族のようになれた」という感想を聞くことができました。また、中国から 10 歳の息子さんと参加したお父さんは、「まったく日本語を話せなかった息子がこのキャンプを通して日本語が出てくるようになった。強制するのではなく、自然に話せるようになるのが大事だと思った」と話していました。自然に囲まれ仲間の絆を感じた 4 日間は、思い出の写真を集めたスライドの投影で締めくくられました。



竹の滑り台で遊ぶ子どもたち
アジサイのリースをくりぬけてヨモギのマットに着地！

当団体は夏だけでなく冬にも長野県飯山市でイベントを実施しています。次回は 2019 年 3 月下旬になべくら高原で、昨年約 750 名が参加した「多言語・雪の学校」の第 6 回目を開催予定です。



家族のように仲良くなりました！

■一般財団法人 言語交流研究所

1981 年 10 月、多言語活動の提唱者である榊原陽氏が設立。以来、「ことばと人間」を研究テーマに、多言語の自然習得及び多国間交流の実践を通して、言語と人間の科学的探究を進め、国際間の理解と人類の共生に寄与することを目的とした活動を行っている。2013 年 1 月に一般財団法人に移行、2018 年 10 月に設立 37 周年を迎える。

■ヒッポファミリークラブ（会員制）

一般財団法人 言語交流研究所が運営する「ヒッポファミリークラブ」（会員制）は、「多言語の自然習得活動」、「国際交流活動」、「研究・開発活動」の 3 つを柱とし、家族や地域の会員と共に、様々な国や地域のことばを自然に身につけ、様々な人に出会い、共に育つことのできる環境づくりに取り組んでいる。2018 年 6 月時点、全国約 700 カ所の活動場所に約 20,000 名のメンバーが所属し、日本国内だけでなく海外（アメリカ、メキシコ、韓国）にも活動が広がっている。

■オフィシャルサイト

<http://www.lexhippo.gr.jp/>

【報道関係お問い合わせ先】

一般財団法人 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ 広報担当 TEL:03-5467-7041